

屋外展示園



ゼンテイカ【山地草原】



アヤメ【低地草原】



クルメツツジ
【ツツジ・シャクナゲ園】



ユリノキ シナユリノキ
【北米東部の植物】 【雲南の植物】



エビネ【クリ・コナラの森】



サクラソウ【河原の植物】



シラン【低地草原】



フジ【花のプロムナード】

ボタンとシャクヤク

昔から女性を花に例えて、「立てばシャクヤク、座ればボタン…」という言葉が使われますが、植物学的にはシャクヤクもボタンもボタン科ボタン属という同じ中間の植物です。草本性で冬には地上部が枯れてしまうのがシャクヤク、木化した茎が冬でも残るのがボタンで、春になると茎が真っ直ぐ伸びて花を咲かせるシャクヤクに対し、ボタンは横に枝が張ることから、「立てばシャクヤク、座ればボタン…」と呼ばれているようです。

シャクヤクの根を乾燥したものが生薬の「芍薬」で、代表的な婦人薬の当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)や風邪薬の葛根湯(かっこんとう)をはじめ、いろいろな漢方処方用いられています。植物園では展示ボックスで「芍薬」も展示しています。

富山県中央植物園には中国雲南省から直接導入した中国ボタン、中国シャクヤクの他、日本や西洋の品種など110品種470株が植栽されています。ボタンは5月上旬から中旬に、シャクヤクは5月下旬から6月上旬に見頃となります。



中国牡丹 '環珠宝珠'
(ようらくしほうじゆ)



日本芍薬 '駒沢'



フランスバラ【香りの植物】



ムサシアブミ
【シイ・カシの森】



展示温室



キンコウボク【雲南温室】



カクチョウラン【ラン温室】



エーデルワイス
【高山・絶滅危惧植物室】



アモルフォファルス・ブルビフェル【熱帯雨林植物室】



ギンコウボク【雲南温室】



パキラ【熱帯果樹室】



ランタナ【熱帯雨林植物室】



ヒメマツムシソウ
【高山・絶滅危惧植物室】



ゲットウ
【熱帯雨林植物室】